自主学習会

日本の中世を探求する
（毎月第 3 金曜　13 時 30 分～）
伊東俊一著『荘園』（中公新書）の輪読会をしています。2000 年前後から新しい荘園の見方が発表され、この四半世紀の間で研究が深められました。1 節ごとに進めていて 8 月から中世荘園に入りました。なお、当学習会は春と秋に見学会を行っています。

旅と街道学習会
（毎月第 4 水曜　13 時 30 分～）
参勤交代や物資の輸送、信仰や物見遊山の旅等、近世には多くの街道が賑わい、今の街道の礎ともなっています。当会はこれら房総や近郊の街道を選び、街道の歴史や役割、地理、民俗等について資料収集や現地を訪ね調査・発表しあいます。現在、木下街道、多古街道、御成街道、鎌倉街道上道を対象に多くの仲間と楽しく旅しています。

古代の東国探訪学習会
（毎月第 3 木曜　13 時 30 分～）
東国の古代史を主として学習していますが、地域を限定せず又年代も中世迄として巾広く学習し発表し議論しています。テキストは使用せず各自興味ある事を発表し互いの知識を深めています。楽しく学ぶがモットーです。

先史・古代学習会
（毎月第 2 木曜　13 時 30 分～）
「邪馬台国」「日本人の来た道」「聖徳太子の実像」など、先史・古代の日本史には多くの謎が残っています。本会では、課題図書を読む「読書発表」で基本を学び、興味のあるテーマで発表し意見交換する「自由発表」の二つを中心に活動しております。どうぞお気軽に見学にお越しください。

歴博友の会入会のご案内
ー友の会会員の特典ー

☑国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館（入苑）できます。
☑友の会が主催する講座、講演会、見学会等各種のイベントに随時参加できます。
☑歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース（隔月刊）が送付されます。
☑普通会員には歴博編集の歴史系総合誌「REKIHAKU」が送付されます。

会員の種類	年会費
維持会員	(1 口)100,000 円
新規普通会員	＊8,000 円
準会員	3,000 円
家族会員(2 人分)	5,000 円

＊2 年目以降（継続普通会員）の年会費は 7,000 円です。

問い合わせ：表記の一般財団法人　歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています。（検索画面から“歴博友の会”で検索できます）

古文書学習会
（毎月第 4 金曜　13 時 30 分～）
歴博所蔵の近世の古文書を輪番の数名が解読・発表した後、時代や地域等の背景も考えて討議し、読みと解釈を確定する形の学習会です。今は大森銀山支配下の石見国の庄屋福富家旧蔵の文書（郷宿の運営委託に関わる争いなどの記録）を読んでいます。見学歓迎です。
（初級講座 1 年終了程度以上の方）

国立歴史民俗博物館
友の会



（2026. 10 発行）

一般財団法人　歴史民俗博物館振興会
〒285-0017　千葉県佐倉市城内町 117
国立歴史民俗博物館内
https://www.rekishin.or.jp
E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp
電話　043-486-8011
FAX　043-486-8008

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。
友の会会員ならどなたでも参加できます。
興味のある学習会に参加しませんか。

近世史読書会
（毎月第 1 水曜　13 時 30 分～）
『近世史講義―女性の力を問いなおす』（ちくま新書）で「近世の女性たち」を学んでいます。最新研究での新しい知見、異なる視点からの新鮮な気付きが見つかるかもしれません。近世期のジェンダーにご興味がある方は是非ご一緒しませんか。

総合展示物学習会
（毎月第 4 木曜　13 時 30 分～）
歴史好きな私達にとって展示室内は歴史ロマンの詰まった宝庫です。展示物の関連資料を読み解きながら情報交換をし、日本の歴史（生活史）を学習しています。そして学習したことを展示室で確認し、知り得たことは共有している楽しい学習会です。

近現代史読書会
（毎月第 3 火曜　13 時 30 分～）
昨年 10 月から近代朝鮮の歴史に取組んでいます。テキストの著者は、「朝鮮に軸足を置いた日本との関係史である」といいます。日本の近代化の過程も振り返りながら、韓国・北朝鮮の政治社会文化について理解を深めて行きたいと思っています。

日本の民俗を訪ねる
（毎月第 2 水曜　13 時 30 分～）
「古老の相ひ伝へる旧聞の事。国郡の旧事を問ふに、故老答へて曰へらく」。「俗云はく、蛇を謂ひて夜刀神と…」。『常陸国風土記』が伝える。8 月から講読開始。歴博を置く東国の在りし日を垣間見、語り合う時、そこに歴史を刻む「人の易と不易」が見える。